

応用測量論文 奨励賞に3件

日本測量協会（日測協、清水英範会長）は2日、東京都内で2024年の応用測量技術研究発表会を開き、「応用測量論文奨励賞」の受賞者を決定した。論文20件のうち、特に優秀な3件を選んだ。

測量が地理空間情報の整備の担い手であると同時に、地理空間情報の利活用の推進役としての役割が求められている現状を踏まえた取り組み。

応用測量論文集を発売するとともに、発表会を行っている。

応用測量論文奨励賞の受賞論文は次の通り。▽受賞者11論文名。敬称略。

▽中川雅史（芝浦工業大学教授）ほか4人11都市河川マッピングのためのGNSS/LiDARのSLAMを用いたストリーミング点群セグメンテーション

日測協

▽若泉拓磨（アジア航測）ほか5人11LOD2建築物モデルからの壁面情報付きLOD2の自動生成手法の検討

▽加藤沙季（国際航業）ほか5人113D都市モデルを用いた壁面太陽光発電ポテンシャル推計。